

武家政権の

# 軌跡

権力者と寺

I期 2022年 8月8日(月)～10月6日(木)

II期 2022年 10月16日(日)～12月11日(日)

〔休館日〕10月7日(金)～10月15日(土) 〔開催時間〕10時～17時(入館は16時30分まで)  
〔拝観料〕一般800円(65歳以上・大学生500円) 中学生300円 小学生100円 ※観覧券は別途割引券500円  
〔主催〕相国寺承天閣美術館 〔協賛〕一般財団法人 萬年会 鹿苑寺 慈照寺

相国寺承天閣美術館

Shokokuji Jotenkaku Museum



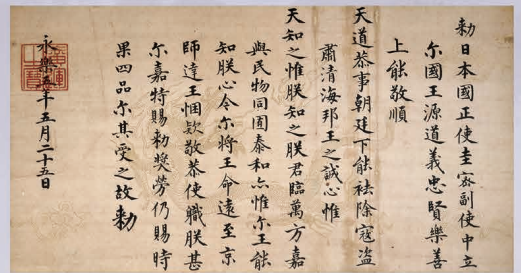


# 武家政権の軌跡

## 権力者と寺



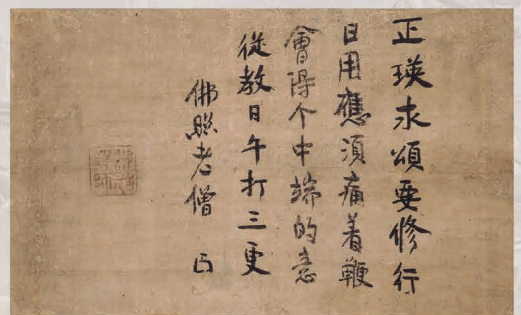
白鷺図 徽宗皇帝筆 蔡攸贊 鹿苑寺藏



重要文化財 明永樂帝勅書 相国寺藏 Ⅰ期



重要文化財 十六羅漢図 陸信忠筆 十六幅のうち 相国寺藏 Ⅱ期



重要文化財 拙庵徳光墨蹟 金渡の墨蹟 鹿苑寺藏 Ⅰ期



重要文化財 鳴鶴図 文正筆 相国寺藏 Ⅰ期

相国寺は室町幕府三代將軍の足利義満により創建されました。以後、相国寺は歴代の足利將軍と深いつながりがあり、その遺品が伝来しています。また、中世から近世に移り変わる激動の時代、相国寺は幾度も焼失と復興の歴史を繰り返しました。そして復興は、その時代ごとの権力者の力なしでは成しえないものでした。寺領や住持職なども皆武家政権の発給した文書によって約束されたため、寺宝には多くの幕府発給文書が伝来します。

さらに、江戸幕府の巡見の際に相国寺は、寺院を荘厳する絵画や、足利將軍ゆかりの寺宝を提示します。その目録に載る中国絵画群、さらには、徳川家など武家が所持した高僧の墨蹟などを紹介します。相国寺とその塔頭に伝来する、肖像画、墨蹟、中国絵画、古文書から、武家政権との交流の軌跡をたどります。



- ▶ JR京都駅より京都市営地下鉄「今出川」駅下車 3番出口から徒歩8分
- ▶ 阪急電車烏丸駅より京都市営地下鉄「今出川」駅下車 3番出口から徒歩8分
- ▶ 京阪電車「出町柳」駅3番出口より 徒歩20分、または市バス59・201・203号系統「同志社前」下車 徒歩6分
- ▶ 市バス102号系統(洛バス)「烏丸今出川」下車 徒歩8分

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会期の変更、入場制限を行う場合があります。最新の情報は当館ホームページでご確認ください。ご来館にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止にご理解とご協力をお願い申し上げます。

- ・来館時はマスクを着用ください。
- ・美術館入口で検温を実施いたします。37.5度以上の発熱が認められた場合は入館をご遠慮ください。

「関連イベント」  
当館ホームページでご確認ください。